



本の分類のヒミツを解き明かそう!

子ども司書講座

新聞 第2号

第2回目の講座は、『図書館の本の分類』について学習をしました。本の分類とは、その本に書かれた内容を仲間分けしていくことです。図書館の本はこの仲間分けされた本と並びます。分類するためのルールを図書館では日本十進分類法（NDC）と呼んでおり、その仕組みや意味を理解することを簡単に探してみたいと思います。

本の分類は数字で表しています。参加した子ども司書の皆さんも少し不思議に思っていたようです。実際に何冊か本を見せながら進めていくと、数字の意味がだんだん分かるようになって納得!といった様子でした。

★ ★ ★ ★ ★ 分類の仕組みと意味

仲間分けしたグループごとに本を並べています

本に書かれている内容ごとに仲間分けをして、分類の数字を決めます! 分類は全部で10個あります。

- 0 全般・図書館
- 1 宗教・哲学・心
- 2 歴史・伝記・地理
- 3 社会・政治・経済
- 4 自然科学
- 5 工業・技術・家庭科
- 6 産業・通信
- 7 芸術・体育
- 8 外国語
- 9 文学・物語

ホームページでも公開中!!

子ども司書講座

よく読む本の分類を覚えておく探すときに便利だよ!



チャレンジ! 分類クイズ!

分類の説明が終わったあとは、クイズにチャレンジしました。本の内容に合わせてどんな分類の数字があるか? どのグループに分けられるか? 実際に本を見ながらやりました。皆それぞれ協力してクイズに挑戦していました!

★ ★ ★ ★ ★

次回の講座予定

7月15日(日)です。



最後は答え合わせです。皆、満点を取りました!

